

前期 きほんの「き」

令和3年 7月 3日 (土)

令和3年 9月 5日 (日)



企画展  
再興九谷  
の源流

# 若杉窯

W a k a s u g i K i l i n



後期 源流を求めて

令和3年 9月 18日 (土)

令和3年 11月 28日 (日)

前期・後期 同時開催  
「歴代徳田八十吉の名品」



開館時間：午前9時～午後5時（入館は4時30分まで）  
休館日：水曜日（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日  
9月6日（月）～9月17日（金）展示替え  
入館料：300円、高校生以下無料

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況により、会期・開館時間の変更が生じる場合があります。入館の際、手の消毒やマスクの着用、検温、連絡先のご記入をお願いしております。ご了承ください。

※小松ミュージアム・パス利用可※障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名は無料

小松市立錦窯展示館

〒923-0931 石川県小松市大文字町 95-1  
Tel/Fax : 0761-23-2668 <http://www.kcm.gr.jp>



## 前期 きほんの「き」

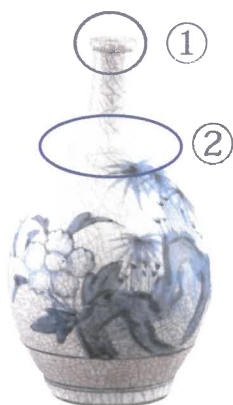
若杉窯のやきものを  
「いつ」「どこに」「どんな風に」  
「だれが」「なにを」「なぜ」  
のキーワードから紹介します。

発掘  
された陶片  
と同じ形の  
お皿



若杉窯《染付 亀形三足皿》

若杉窯の徳利  
の特徴は？



若杉窯《染付 草花図大徳利》

## 再興九谷の源流 若杉窯

前期 2021. 7. 3(土) — 2021. 9. 5(日)

後期 2021. 9. 18(土) — 2021. 11. 28(日)

※ 9. 6(月) — 9. 17(金) 展示替え休館

若杉窯は、江戸時代後期、現在の小松市若杉町で開かれた九谷焼の窯です。

現在も九谷焼の原料として使われる花坂陶石を使い、染付や色絵などの技法で日用品を生産しました。

また、この窯の陶工たちは、再興九谷緒窯へと広がり活躍しました。

この企画展が若杉窯について知り、考える機会となれば幸いです。

表面上から 若杉窯《染付 桐鳳凰図皿》

若杉窯《色絵 菊蝶図鉢》

三代徳田八十吉《耀彩鉢「輪華」》(前期)

## 後期 源流を求めて

- ・ 若杉窯調査研究の歴史
- ・ 若杉時代と八幡時代とは
- ・ 若杉窯の名品

※ 展示内容は変更されることがあります。



「加陽若杉 / 文政年製」  
と書かれた水指



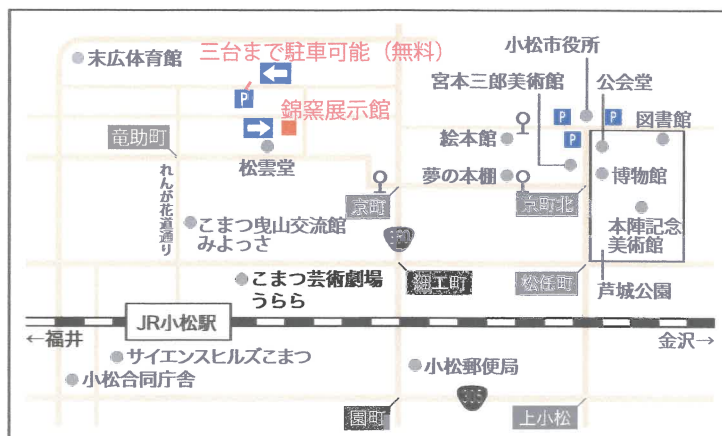
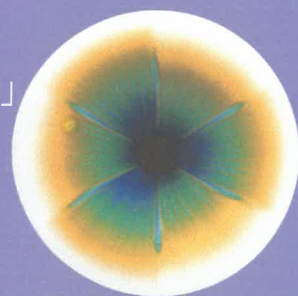
若杉窯《染付 桐紐水指》

同時開催

「歴代徳田八十吉の名品」

初代から三代までの  
徳田八十吉の名品を紹介。  
(前期・後期展示替え)

三代徳田八十吉《耀彩鉢「華文」》(後期)



## 小松市立錦窯展示館

〒923-0931 石川県小松市大文字町 95-1

Tel/Fax : 0761-23-2668 <http://www.kcm.gr.jp>